

3.3 大学間連携災害ボランティアネットワーク

◇仙台七夕まつり

目的	七夕まつりを通して地元の方々との交流を深めるとともに、ボランティアの精神を学ぶ
場所	仙台市中心部および周辺商店街
活動内容	会場設営・撤収、来場者対応、広告配布
活動日時、 参加人数	2018年8月6日(月) 16:00~22:00、8月7日(火) 10:00~15:00 10名(一部引率あり)

実施概要

藩祖伊達政宗の時代から続く伝統行事。旧暦7月7日に全国各地で催されていた七夕の季節感に合わせ、仙台七夕まつりは新暦に1か月を足した暦である中暦を用い、現在の8月6日から8日に開催される。期間中は、仙台市内中心部および周辺商店街をはじめ、街中が色鮮やかな七夕飾りで埋め尽くされ、毎年200万人を超える多くの観光客が訪れる。日本古来の星祭りの優雅さや飾りの豪華絢爛さをあわせ持つ祭りとして、全国に名を馳せている。

感想・活動を通して得た学び

全国的にも有名なお祭りであって、天候が悪化していたにもかかわらずその賑わいを感じる事ができた。地元の方々に愛され、地元の方々によってスムーズで活気がある運営がなされていることは、活動に参加してみれば一目瞭然だった。東京から来たと話す私たちが温かく迎えてくださった皆さんに感謝したい。全国各地からボランティアに参加していた学生と交流できたことも印象的だった。短い間ではあったが、時間を共有するだけでこれほどの一体感が生まれるということを知った。

今後に向けて

課題点としては、台風接近にともなって予定よりはるかに早く活動を終了することになったことが挙げられる。予想しなかった事態に戸惑い、ボランティア先の方々にもご迷惑をかけることがあったかと思う。遠方での活動になる際は、天候の急変や交通の混乱など考えられるすべての事態に対して十分に備えておく必要がある。ボランティアに参加「させていただく」身であることを理解すれば、私たちの都合で受け入れ先に迷惑をかけることはあってはならないのだ。

(法学部グローバル法学科)